

地域医療研修を終えて

名古屋第一赤十字病院 研修医 1 年目

2 週間の間地域医療研修をさせて頂き、ありがとうございました。今回の研修では、普段の中村日赤での研修では経験できないようなことがたくさんあったように思います。

総合診療科の初診外来で予診を担当させて頂く中で気づいたのは、普段自分が行っている救急外来での診療と内科外来における診療は大きく異なる物であるということです。救急外来では「緊急性があるかどうか」という点に焦点を当てながら診察や検査をし、初期対応が終わりさえすれば治療などは主に専門科の先生に頼めばやってもらえる環境にありますが、一般の外来では「患者さんは何をしてくれなくて病院に来たのか」という点に着目し、治療とその後のフォローまでを考えながら診療を行わなければならないのだと気づかされました。

また、他に印象的であったのは、週に一回の内科カンファで医師だけでなく、看護師さん、理学療法士さん、MSW さんといった他職種でのディスカッションがルーチンで行われていたことです。患者さんの生活背景、心理背景にまで目を向け、退院後の生活も考慮に入れた上でケアを行っていることが分かりました。こういった光景は中村日赤では見たことがなく（カルテの付箋を用いたやりとり程度はありますが）、地域医療を担う新城市民病院ならではの取り組みであると思いました。

先生方の医療に対する向上心もまた見習うべきだと感じました。日々の朝勉強会や、Up to date 勉強会、EBM 勉強会と、日頃から常に疑問を持ち、どんどん知識をアップデートしていって、医師という職業にとっては生涯にわたって勉強を続けていくことが不可欠なのだという事を再認識させられました。そういった環境で普段からトレーニングをされている指導医の先生に毎日の振り返りをして頂いたことは大きな財産となりました。中村日赤は研修医の数も多く、どうしても指導医の先生と研修医との間には一定の距離が感じられます。今回の様にマンツーマンで指導をして頂くようなことはなかなかなかったため、非常に贅沢な時間だったように思います。

訪問看護・リハビリや老人保健施設については、国家試験の勉強をするときにその単語だけ知っていた程度で、その現場を知ることができたのは非常に有意義な経験でした。新城のような地域では、一軒一軒回るだけでもかなりの時間が必要で、時間や人材といった資源の有効活用にはまだまだ課題があるのではないかと感じ、これらの医療・福祉サービスが孕んでいる問題点についても知る事が出来ました。

最後になりましたが、総合診療科の先生方を始め、看護師さん、リハビリの方々、MSW さん、訪問看護やサマリヤの丘のスタッフの皆様には大変お世話になりました。今回の経験を是非ともこれからの研修に役立てていきたいと思っています。2 週間本当にありがとうございました。